

令和2年度
学校関係者評価 報告書

令和3年2月25日実施
学校法人 エイシンカレッジ
長岡こども福祉カレッジ

令和元3年2月25日

令和2年度 学校関係者評価報告書

学校法人 エイシンカレッジ
長岡こども福祉カレッジ
学校関係者評価委員会

学校法人 エイシンカレッジ 長岡こども福祉カレッジ 学校関係者評価委員会は令和元年度自己点検・自己評価報告書の結果に基づいて学校関係者評価を実施しましたので以下のとおり報告致します。

1. 基本方針

本学における学校関係者評価は学校自己評価（項目別の自己評価表）を基に「専修学校における学校評価ガイドライン」に則って実施することを基本方針とする。

また、公表については「長岡こども福祉カレッジ 学校評価実施規定」に則するものとする。

2. 出席者一覧表

名前	役職	所属（企業・団体名）
＜学校関係者評価委員＞		
長尾 正博	東部保育園園長	社会福祉法人東光会
元井 信明	代表	合資会社ケアサポート長岡
＜事務局＞		
森 久	学校長	長岡こども福祉カレッジ
保坂 芳央	副校長	長岡こども福祉カレッジ
川本 公代	学科長（社福）	長岡こども福祉カレッジ
棚橋 恭子	学科長（介護）	長岡こども福祉カレッジ
＜進行＞		
遠山 千勇	事務局長	長岡こども福祉カレッジ

欠席者

名前	役職	所属（企業・団体名）
<事務局>		
長谷川智子	学科長(こども)	長岡こども福祉カレッジ

3. 委員会次第（概要）

・開催日時 令和3年2月25日（木） 14:00 ～ 15:20

・実施場所 長岡こども福祉カレッジ 5階 503教室

(1) 学校長挨拶

(2) 報告

令和2年度学校自己点検・自己評価について

(3) 協議

・学校関係者評価委員の選任について

・令和元年度学校自己点検・自己評価に関する学校関係者評価について

・令和2年度学校自己点検・自己評価の実施について

(以下の評価項目に関するご意見・ご提言を頂いた)

①教育理念・目標 ②学校運営 ③教育活動 ④学修成果

⑤学生支援 ⑥教育環境 ⑦学生の受入れ募集 ⑧財務

⑨法令等の遵守 ⑩社会貢献・地域貢献

4. 学校関係者評価委員による評価・指摘事項

① 教育理念・目標

- ・学則・学生の手引きを学生・保護者に配布し、教育理念・目標を説明している。
- ・実習・体験授業を通して、職業教育を実施している。
- ・国家資格取得を通してキャリア教育を実践している。
- ・HPで公開しているが、もっと周知するように働きかける。
- ・退学者をなくすために、教育目標等をしっかり説明している。

② 学校運営

- ・ICTを活用して情報共有を図っている。同時に、情報の管理運用を徹底している。
- ・定期的に学園だよりを発行して、保護者への情報提供を行っているが、もっと積極的な情報公開に取り組む。
- ・運営方針、事業計画、財務状況について公開し、計画どおり実施している。
- ・運営会議等で、問題を抽出し、意見を集約しその改善に努めた。

③ 教育活動

- ・カリキュラム・シラバスは教科ごとに作成し、公開している。
- ・成績評価については基準をシラバス等で示している。
- ・学生アンケートを実施し、授業評価や授業の理解度・満足度等を把握している。
- ・国家資格全員合格を目指し、各学科がサポートしている。
- ・アクティブラーニングの実践により、授業内のコミュニケーション向上を実践している。
- ・ボランティア等、学校外の体験を推奨した。

④ 学修成果

- ・就職実務の授業を通じて、働きかけをし、100%の就職実績をあげている。
- ・退学者をできるだけなくせるよう、学生への相談体制を構築したい。
- ・年々、多様な学生に対する指導の必要性が高まっている。
- ・社会福祉専攻科は社会福祉士取得、2年連続100%であった。

⑤ 学生支援

- ・就職課の担当者がキャリアサポーターとなって、職員全員で就職支援を行っている。
- ・「高等教育の修学支援新制度」の確実な実施に向けて、準備をしておく。
- ・担任を中心として学生の悩みを相談できる体制を強化したい、
- ・学生有志のサークル活動支援をしている。また、ボランティア活動への参加も促している。
- ・遠距離通学学生に対して寮を完備し、支援も充実させている。また、スクールバスでの通学も実施している。
- ・留学生への支援体制も継続的に整える必要がある。

⑥ 教育環境

- ・実習を伴う授業環境の整備している。
- ・授業の意義や目的を明確にするようにしている。
- ・防災担当の職員を配置し、緊急時の体制を整えている。
- ・全教室から Wi-Fi に繋がる今の環境の充実を図っていききたい。
- ・オンライン教育（動画の活用）の必要性を議論して欲しい。
- ・職員の実習巡回により実習担当者と連携している。

⑦ 学生の受入れ募集

- ・入学前ガイダンスを実施し、連絡を密にして、入学に不安のないように働きかけている。
- ・学校パンフレットや HP に学校成果を掲載し、本校の魅力を発信している。

⑧ 財務

- ・公認会計士による会計監査が定期的におこなわれており、財務に関する透明性が確保できている。
- ・財務情報は HP に公開している。
- ・事業計画段階で予算案を策定して運営し、収支も黒字になっている。

⑨ 法令等の遵守

- ・情報（個人情報やデジタルデータ）の管理は、複数人体制で管理する。
- ・個人情報保護の規定を設けており、学生に対しては、SNS 利用のための指針を策定している。
- ・学生アンケートにより、改善点を明確にして、取り組みを実践している。
- ・年度当初に、職員全員に研修を実施し、法令順守を徹底している。

⑩ 社会貢献・地域貢献

- ・2号館に設置の AED は地域での利用が可能としている。
- ・積極的にボランティア活動を奨励している。こども保育科では地域での催し物に定期的に参加している。献血の取組も継続している。
- ・地域の施設等からの求めに応じて研修会の実施や、職員の派遣の要望に応じている。
- ・専門性を見に付けた学生を多数輩出している。

～学校関係者評価の総括～

学校長のリーダーシップのもと、学校の自己評価を基に令和元年度の学校活動に関して検証したが、教育目標や将来構想に沿った活動が多く報告されており概ね適正と評価する。

高等教育無償化制度の導入により成績評価に関して見直しが図れた点が特徴として挙げられ、次年度以降はこれらがどのように学生の学習意欲と学力の向上に寄与していくかに関して期待する。

学生の状況を把握・分析し、学生生活の充実と社会人として活躍できるような指導に努める。

学生がより相談できる体制を充実させ、退学者をなくする。

本評価委員会も学校運営の一助となるようこれからも積極的な提言に努めたい。

